

草原を守るために



ひとりひとりどんなことができるか考えてみましょう。

これまで千年もの間、阿蘇の人々が自然と上手に付き合うことで守られてきた阿蘇の草原。この日本一の広さの草原は、多くの人々に自然の恵みを与え、多くの生きものが息づいています。この豊かな草原を未来に引きついでいくためには、時代に合わ

せた新しい方法を考えていかなければなりません。

阿蘇では、阿蘇に住む人たちだけでなく、他の地域の人たちも一緒になって草原を守る取り組みが始まっています。

草原を守るさまざまなとりくみ

1 牛を増やす

健康で安全な牛肉を安く生産できるよう、冬の間も草原で放牧をする「周年放牧」や、他の地域の牛を預かって放牧する「預託放牧」などの取り組みが進められています。

阿蘇に牛が増えることで草原の利用が増えます。



2 草原に親しむ

阿蘇の草原や文化に深く触れる、地元の人との交流をとりいれた新しいタイプの旅行や、ホームステイ型の修学旅行などが行われています。また、地域と草原の関わりを知ってもらうために、かつて牛と人が草原と里の間を行き来した「草の道」を歩く会なども行われています。



3 都市に住む人たちも協力

阿蘇の水と緑を国民みんなの財産として守っていくために、熊本市をはじめ他の地域の人たちも協力しています。例えば、阿蘇グリーンストックでは、ボランティアを組織して、草原を守るための輪地切りや野焼きといった重労働作業の人手不足を補う支援を行っています。

野焼き支援ボランティア問合せ
財団法人阿蘇グリーンストック TEL 0967-35-1110



こんなことも阿蘇の草原を守ることになるんだよ

●阿蘇のことを知って、伝えよう
阿蘇の草原を深く知ろう。知れば知るほどいろんな阿蘇が見えてくる。そして、君が感じた草原のすばらしさや守ることの大切さを親や友だちに伝えよう。

草泊まりの作り方を習ったり、草原にはおどろくことがいっぱい！



阿蘇の草原のことがわかるホームページ
<http://www.aso-sougen.com>

●あか牛を食べよう
草原を守るおいしい方法もある。草原の草をもくもくと食べるあか牛。このあか牛の肉がたくさん消費されると、阿蘇の草原が守られることになるんだ。牛肉を100グラム食べると畳4畳半の広さの草原が守られるといわれているよ。



牛のおいたちを調べてみよう
スーパーなどの肉の売り場に10ケタの数字が書かれているのを見たことがあるかな。この数字から、牛のおいたちを知ることができるんだ。阿蘇の草原育ちかもしれないよ。
牛のおいたちがわかるホームページ
<http://www.id.nldc.go.jp/top.html>

?

みんなの住んでいる地域はどうか？

みんなの住んでいる地域でも、周りの自然は変化しています。まずは、興味をもってその変化を観察してみてください。そして、みんなが大切に思う自然とはどのようなものか、残したい自然は何か、そのために自分ができることは何か考えてみましょう。